

学校名 岐阜県立斐太高等学校  
所在地 岐阜県高山市三福寺町736番地  
電話 0577-32-0075

## 1. 本校の概要

本校は山紫水明の飛騨高山にあり、創立以来115年の伝統を誇る男女共学25学級の普通科高校である。ほとんどの生徒が進学希望で「切磋琢磨」「確乎不拔」の校訓のもと、真摯に学業に励み、部活動や各種の行事にも力を尽くしている。近年は、卒業式当日の伝統的生徒会行事「白線流し」が全国的に有名になっている。

## 2. 本校の実践の概要

### (1) 本校の実践の特色

#### 行きたくなる図書館

職員と図書委員が知恵を出し合って、全校生徒が一日に一度は図書館に行きたくなるような工夫を凝らしている。廊下の図書館広報コーナーで「こんな本があるよ。」と巧みに呼びかけている。図書館内は、利用者の立場に立った配置に心掛けている。発泡スチロールとテグスを使って、館内の全てが一目でわかるように案内したり、座り心地の良い椅子を用意したりしている。さらに、観葉植物や熱帯魚などを置くことで、学校の一角に不思議の国の別世界を演出し、「安らぎ」と「癒し」の空間を提供している。また、行事の度に閲覧室の中央で特設展示を行っている。例えば、クリスマスには、約50冊のクリスマス関係の本を展示し、飾り付けをするなどして楽しい雰囲気を作り出している。

#### 情報センターとしての役割

図書館内には、新聞切り抜きコーナーやペット本、旅行本、洋書コーナーなど30種を超える常設コーナーと、その時々話題本、人気本、行事関係本などの特設コー

ナーがある。例えば、常設の「アテンションプリーズ」のコーナーでは、主に当日の新聞から興味ある記事をコピーして貼ったり、催し物の案内をしたりするなど最新情報を提供している。また、生徒の小論文対策にも役立つよう、新聞切り抜きの記事を文学、教育、医療、歴史、環境、人権、女性問題など多くの分野別に整理している。レファレンスサービスでは、岐阜県図書館をはじめ多くの機関と広く連携を取り合っており、あらゆる手段を講じ、熱心に、また誠実に行うことをモットーとしている。

#### 図書委員会の充実

最大の特色は図書委員会の活躍である。本校の伝統的な部分で、総務部、広報部、サービス部のそれぞれが「どんなことを提供できるか。」を常に考え、利用者の目線で見直し改善し、「日だまり」のような図書館づくりを目標に、全校生徒と図書館をつなぐ大切な役割を果たしている。

### (2) 地域に開かれた図書館

本校の図書館は、保護者、卒業生、学校周辺の一般の方々にも開放されている。貸出の他に、貴重本の閲覧もあるため、地域の情報センターとしての役割も果たしている。

## 3. 成果と今後の課題

次のような利用者の声の中に、これまでの成果を見ることができる。

- (1) 最新の本があり、「こんな本もある!」と、うれしくなるような本がいっぱいある。
- (2) スポーツ新聞から英字新聞まで、新聞の種類も多く、広告のチラシも整理されていて、買い物情報や映画情報まですぐ分かる。
- (3) 館内がきれいで、気楽に入館でき、ほっとして、大変落ち着くことができる。

今後の課題はコンピュータのより広い活用による蔵書管理、他の図書館とのネットワークの充実、利用者への新しい情報提供などである。